

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月27日  
派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	新城市	代表者名	穂積 亮次
担当者部署	総務部 情報システム課	連絡先電話番号	0536-23-7612
担当者役職		担当者氏名	
住所	441-1392 愛知県新城市字東入船115番地		
連絡先E-mail			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	ざっくばらんにワークショップでお話しいただき、職員も相談しやすかった。自身の経験からのアドバイスであり、職員に対しての説得力も高い。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月27日	13時00分	17時15分	10	245
3-2. 派遣場所	会場名	新城市役所		最寄駅	JR飯田線 新城駅
	所在地	新城市字東入船115番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	マイナンバーカード利活用、デジタル法対応等があるが、職員意識が従来業務、紙文化から脱却できない	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	マイナンバー利活用の検討やデジタル法対応に対する職員意識の変化	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	マイナンバーカード利活用を含めたSociety5.0社会におけるスマート公共サービスについてのワークショップ	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	参加した職員はワークショップの結果、スマート公共サービスの必要性を認識できた。ワークショップの意見では前向きな意見が出ていた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回ワークショップに参加しなかった職員への対応	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ワークショップにより必要性が認識でき、可視化できたと意見があった。少人数であったためアンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

